

Report

平成25年度臨時社員総会参加報告

Report on the Temporary General Assembly of JSPME Members in 2013



写真1 板井 茂 会長

河合 正雄

Masao KAWAI

日揮株式会社
第3プロジェクト本部

JGC CORPORATION
No.3 Project Division

一般社団法人製剤機械技術学会の臨時社員総会が12月6日に情報オアシス神田 北スペース（東京都千代田区神田）で開催されたので以下に報告する。

臨時社員総会は、定刻14時30分、司会者の花村聰事務局長より、本社員総会の出席者数は328会員（当日出席者12会員、委任状137会員、議決権行使179会員）であり、社員総数433会員の過半数（217会員）を超えているので定款第13条の規定を満たし本社員総会が開会の条件を満足している旨が宣言された。加えて本社員総会で集まった議決権数は630個（当日出席者24個、委任状249個、議決権行使357個）であり、議決権総数829個の過半数（415個）を超え、定款第17条に定められている決議に関する条件も満足している旨の宣言があり開会となった。

板井茂会長（静岡県立大学薬学部 教授）の開会の挨拶の後、引き続き、定款第15条に従い板井茂会長が議長となり議事に入り、議事録署名人として岩田基数氏（大日本住友製薬株式会社）および高木和行氏（みづほ工業株式会社）が提案され、異議なく承認された。

〔第1号議案〕 定款変更の承認を求める件

定款の変更に関して花村聰事務局長より、配布資料に基づき、本学会のさらなる活性化を図るため、学生会員（会費3千円）を設けると共に評議員の増員について説明が行われ、その他、条文の整備についても説明が行われ、第5条、第11条、第17条、第23条、第43条、附則を原案どおり変更することが、異議なく承認された。

なお、岡田弘晃前会長（東京薬科大学 名誉教授）から補足説明があり、本製剤機械技術学会は平成23年に一般社団法人化した以降も順調に発展しており、会員総数（議決権総数）が800数名から1,000名以上になることを目標に、今後は添加剤メーカー、食品、化粧品等の分野の会員を増やすべく積極的に活動していきたい。学生会員の設置は在学中の学生の教育の推進を目的とし、その後、社会人となった暁には正会員になってもらうための布石でもある。会員になることにより、より多くの学会の情報に接することができ、学生の成長が促進することを期待している。また、評議員数は会員総数の10%にあたる80名以上に増やしたいと締めくくられた。

<p>[第2号議案] 理事1名の選任の件 理事1名の選任に関して板井茂議長より、平成25年</p>	<p>員への協力をお願いがあり、総会の議事は滞りなく終了した。</p>
<p>10月2日付けにて理事を辞任した星野哲夫氏（武田薬品工業株式会社）の補充として、吉岡敏夫氏（武田薬品工業株式会社製剤技術研究所 所長）が推薦された。</p>	<p>最後に、本学会理事の山本恵司先生（千葉大学 理事・副学長 大学院薬学研究院 教授）から、医薬の発展のためには産官学の協力が重要であり、その意味</p>
<p>吉岡敏夫氏は以前、事業体会員の登録会員であり、監事を務め旧製剤機械技術研究会会務に貢献しており、武田薬品工業株式会社の事業体会員としての実績なども考慮したことが説明され、異議なく承認された。</p>	<p>では本学会は非常にうまくいっていると思う。20数年前の旧製剤機械技術研究会の設立において尽力された恩師、仲井由宣名誉会長に敬意を表し、この関係が継続し益々発展するよう引き続き皆様のご協力をお願いしたいとの閉会の辞があり、臨時社員総会を閉会</p>
<p>板井茂議長より本学会がますます発展するよう会</p>	<p>した。</p>